

様式

平成31年 月 日

環境省大臣官房環境影響評価課長 殿

住所  
代表名

平成31年度風力発電に係るゾーニング実証事業  
申請書

標記について、以下の必要書類を添えて申請します。  
なお、書類の提出にあたり、暴力団排除に関する誓約事項に誓約します。

1. 提案書（別紙1）
2. 経費支出予定額内訳（別紙2）
3. その他参考資料
4. 民間団体との共同実施の場合、民間団体の活動概要資料

連絡先 所属部署名： 役職名： 氏名： TEL： FAX： E-Mail：
---

平成 3 1 年度風力発電に係るゾーニング実証事業  
提案書フォーム

(作成注)「業務を行う者」の欄に地方公共団体名・所属、作成責任者、担当者、住所、電話番号、F A  
X番号、メールアドレスを記載してください。

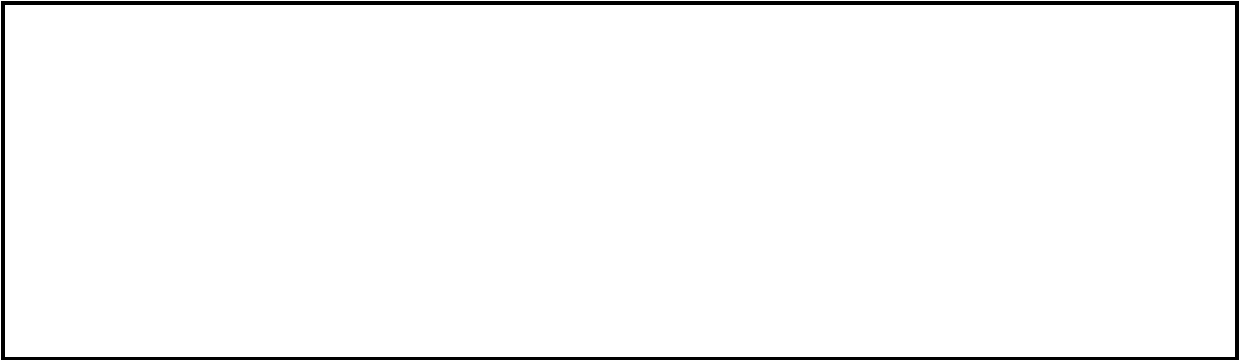
○業務を行う者

地方公共団体名・ 所属			
作成責任者	役職 氏名		
担当者	役職 氏名		
住所			
電話番号		FAX 番号	
メールアドレス			

## はじめに

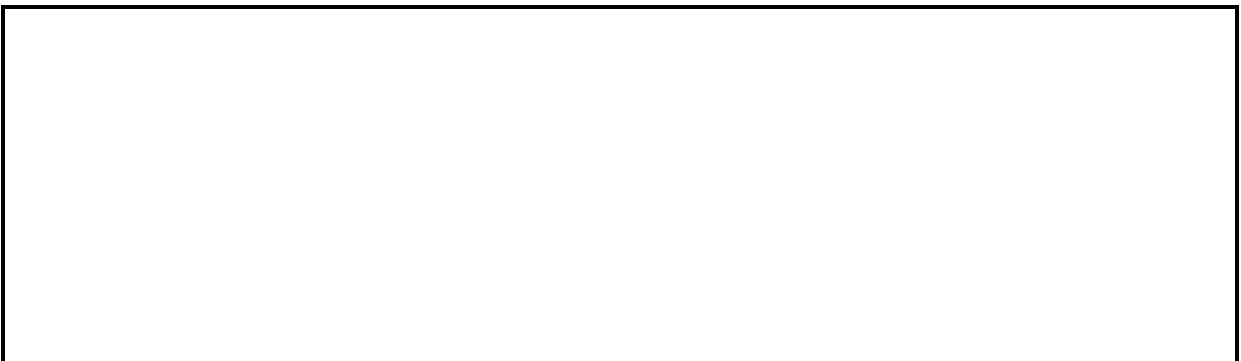
本書は、平成31年度風力発電に係るゾーニング実証事業公募要領に沿って、その実施方法等を提案してください。本事業の実施に当たっては、本提案書を基にして事業を行っていただきます。なお、提案書の作成に当たっては、「風力発電に係る地方公共団体向けゾーニングマニュアル」（以下「ゾーニングマニュアル」という。）を十分に参考にして下さい。

### 1. ゾーニングの目的、背景



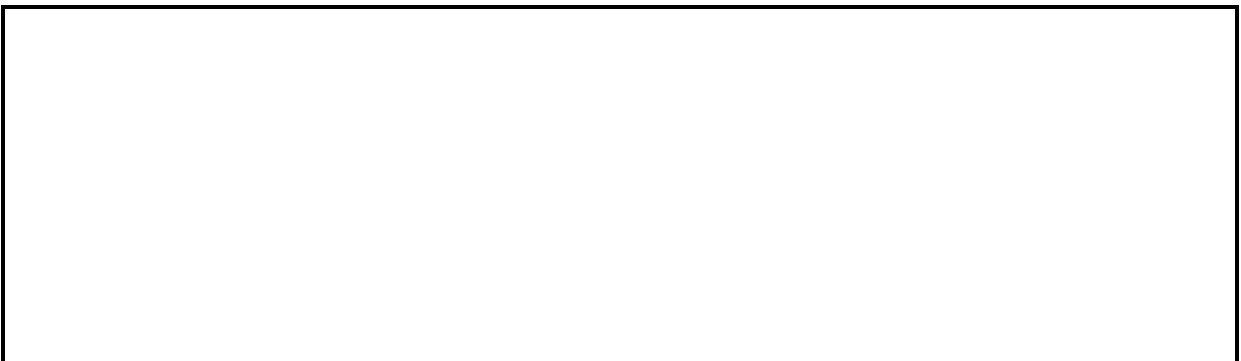
### 2. 上位計画・関連計画との関係

（作成注）ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。



### 3. ゾーニングの対象範囲

（作成注）ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。また、ゾーニングの対象範囲の地図を掲載してください。



#### 4. 風力発電の導入見通し

(作成注) ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。(2)のうち洋上風力発電について記載が難しい場合は、今後の推計方法について記載して下さい。

- |                            |
|----------------------------|
| (1)既存計画における風力発電の導入目標       |
| (2)既存調査等による風力発電のポテンシャル等の把握 |
| (3)導入見通し                   |

#### 5. 地域の概況

(作成注) ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。自然的状況、社会的状況を記載すると共に、事業性に係る情報を記載して下さい。

自然的状況については、特に環境面から特に配慮が必要な地域固有の対象等の状況は記載して下さい(例：特定植物群落や自然度の高い植生の生育地、イヌワシやクマタカ等の特に希少性の高い猛禽類の生息地、渡り鳥の重要集結地 等)。事業性に係る情報については、風況、送電網等のインフラの状況、既存の風力発電施設等の設置状況(距離、設備規模、基数など)等について記載して下さい。

なお、環境アセスメントデータベース”EADAS”(イーダス)(<https://www2.env.go.jp/eiadb/>)を適宜参照、活用ください。

#### 6. ゾーニングに係る情報

##### 6.1 既存情報

(作成注) ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。ゾーニングに係る情報を一覧表にして示してください。

## 6.2 現地調査

(作成注) 現地調査は必須ではありませんが、実施する場合はゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。現地調査を行う環境要素、調査の内容(方法等)を記載してください。

## 7. ゾーニングマップの作成手順

(作成注) ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。(1)～(4)の考え方を示して下さい。

(1)、(2)については図表等で示して下さい。(3)については、主要なレイヤー5つ以上(環境保全、社会的調整に係るレイヤーを各1以上含むこと)について現時点で想定されるエリアの設定方法、重み付けが必要な環境要素がある場合にはその方法を示して下さい。6.2で現地調査を行うとした場合は、現時点で想定される現地調査結果のゾーニング(レイヤー)への反映方法について記載して下さい。

(4)については、見直しの方法について具体的に示して下さい。

(1)エリアの種類

(2)ゾーニングマップの作成手順

(3)レイヤーの作成・エリアの設定方法

(4)導入見直しに応じたゾーニングの見直し

## 8. 関係者・関係機関の抽出(Aのみ)

(作成注) ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。(1)については、環境保全部局(環境影

響評価、自然環境等担当)とエネルギー部局が分かれている場合には、その連携体制を記載してください。(2)については、表で記載して下さい。

(1)地方公共団体内における実施体制

(2)調整が必要な関係者・関係機関

## 9. 合意形成の進め方

(作成注)ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。(1)については、想定されるメンバーを記載して下さい。また、先行利用者、環境保全団体、地域住民等の公衆参加の方法がわかるように記載して下さい。

(1)協議会等

(2)個別調整、個別ヒアリング

(3)有識者等ヒアリング

(4)パブリックコメント

(5)その他の方法

## 10. ゾーニングマップの公表と策定後の見直し

(作成注)ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。

(1)公表

(2)策定後の見直し

## 11. ゾーニングの実証

(作成注)ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。(2)については、促進エリアにおける事

業者の公募、促進エリアにおける事業化の支援、環境影響評価手続きの効率化、現在検討が進められている一般海域における制度の活用等を想定しています。その他、ゾーニングの実証に資する事項等がありましたら記述してください。(実証事業実施にあたって独自の提案、実証事業の成果を他の地方公共団体へ展開する際に有効と考えられるポイント、その他ゾーニングの実証の検討にあたり特筆すべき提案等)

(1)標準配慮書の環境影響評価担当部局及び環境省担当者の確認

(2)ゾーニングに基づく風力発電の導入に関する取組の検討

## 12. その他の取組

(作成注) ゾーニングマニュアルを参照して記載して下さい。本項目の記載は任意です。

(1)保全エリアの保全方策の検討

(2)累積的影響の検討

## 13. 他の委託事業・補助事業等との関係

(作成注) 提案する実証地域において、本実証事業以外に受ける予定の(又は受けたことがある)環境保全と風力発電の導入促進に係る国等の委託事業や補助事業等があれば、その名称、内容等について記述してください。この際、平成31年度以降に予定される事業だけでなく、平成30年度以前の事業についても確認の上記述してください。ある場合は、本実証事業の内容と重複がないことの説明や連携して進められるポイントについて記述してください。





#### 14. 実施計画

提案する実証事業の年度毎における実施計画について記述してください。地方公共団体が実施する事項を中心に、共同実施者、協議会等、外注（再委託）先との役割分担が分かるように記述してください。

(○年目)

時期	内容
到達目標	

風力発電に係るゾーニング実証事業に要する  
経費支出予定額内訳

(○年目) ※1

経費区分・費目※2	金額	積算内訳※3
(記載例)		
業務費		
旅費	〇〇〇〇〇	(数量) × (単価) = 金額
諸謝金	〇〇〇〇〇	
会議費	〇〇〇〇〇	
備品費、借料及び損料	〇〇〇〇〇	
賃金	〇〇〇〇〇	
消耗品費	〇〇〇〇〇	
通信運搬費	〇〇〇〇〇	
印刷製本費	〇〇〇〇〇	
雑役務費	〇〇〇〇〇	
外注費（再委託費）	文献等調査費	〇〇〇〇〇
	現地調査費	〇〇〇〇〇
	協議会等運営補助費	
	その他（ ）	
その他（ ）	〇〇〇〇〇	
合計	円	

※1：年度毎に、経費支出予定額内訳を作成してください。

※2：適宜、行を追加・削除してください。

※3：備考欄に記載できない場合は、別紙に記載するなどしてください。